

「ITADAKIMASU」 ～命のつながりを感じて～アンケート

7月2日に木村まさ子氏を講師に招き深谷市民文化会館において講演会を行いました。500人を超える市民の方が参加し、「いただきます」とは？を共に考えました。木村まさ子氏からは「私達は動植物の命をいただいて、生きているとのこと。いただくことを意識して食べるのが、いかに大切か、そしてそのことを次の世代へちゃんと伝えていくことが大切であるとのこと。そして言葉には不思議な力があり、言葉を口に出して体感することが大事である」とのことを学びました。

アンケート集計結果

《回収総数 373 件》

Q1 男性 49名 女性 324名

年齢(回答者のみ)

0~10代	6名
20代	12名
30代	50名
40代	57名
50代	76名
60代	111名
70代	39名
80代	4名

Q2 本日の講演会をどこでお知りになりましたか？(複数回答可 回答者のみ)

チラシ	68名
ポスター	44名
ホームページ	24名
その他	235名

Q3 「いただきます」についてその意味を知っていましたか？(回答者のみ)

知っていた	244名
知らない	109名

Q4 今まで食事の前に、「いただきます」と言っていましたか？(回答者のみ)

言っていた 337名

言っていない 36名

Q5 木村先生の講演の内容はいかがでしたか？(回答者のみ)

とても満足した 192名

満足した 142名

ふつう 19名

不満が残った 1名

大変不満である 0名

その理由(抜粋)

- ・もっと自分をほめて威信を付けてこれからの人生をステキに過ごしていきたい。
- ・いろいろなたとえでわかりやすくお話ししていただきました。
- ・当たり前前の方が当たり前でないということを知りやすく丁寧なお話しされていたてんがよかった。
- ・忘れかけていた大切な気持ち、心を改める時間を持てた。
- ・改めて気づかせていただいた。
- ・やさしい語りでとても癒された。
- ・わかっていたことですが、改めて聞くと本当に心からいただきます、ごちそうさまを言っていたのか？ただ習慣で言っていたような気がします。言葉の意味も分かってすごく良かったです。子供たちにも伝えていきたいです。自分をほめることも大切なのがよくわかりました。
- ・自分をほめることの大切さを確認しました。そして家族に笑顔を向けていないことを反省しました。
- ・たくさんの気づきがあり、すごく学びました。
- ・いただきますの一言から親孝行の心につながっていくことの素晴らしさ。
- ・食に関する事から生活全般まで大変興味深く聞かせていただきました。

Q6 木村先生の講演を聞いて「いただきます」という感謝の言葉について大切であると思

ましたか？(回答者のみ)

思った 336名

思わない 0名

その理由(抜粋)

- ・食品となるそのものの命だけでなく、それに関わる全ての人も含め感謝を忘れないでいたい。
- ・命あるものを調理し私の命にしていることを知っていながら、はっきりと意識もせず…毎日の食事に感謝していきます。
- ・食べ物も手に入らない子供たちが世界にいることを思えば、日本の子供たちは幸せです。全て手に入り何も考えずに思いのままの日々が送れる、幸せであることをちゃんと考えないといけない。
- ・普段、無意識に言っていた「いただきます」にも深い意味があり大切だと思いました。
- ・命をいただくことの意味をもう一度考えました。前から知っていても、こうしてまた再認識することも大切だとわかりました。
- ・命そのものを大切に思い感謝し、いただかないといけないと思いました。
- ・大切な命をいただいているのだと、改めて思いました。
- ・言葉に込められた思いやりの心、感謝の心の大事さ、命の大切さを改めて感じます。全てがつながっていると思いました。食事の時の挨拶の一つではなく生き方にもつながっていると男見ました。
- ・あらためて感謝をしていただく、命あるものをいただいて自分の命をつなげていけることを幸せに思いこれからもいただいきたい。

Q7 前の設問 Q6 で、思ったと答えた方

「いただきます」という感謝の言葉の意味を自分たちの家族や子どもたちへしっかりと伝えていこうと思いましたが？

思った 357名

思わない 0名

その理由(抜粋)

- ・しっかり伝えていきたい。
- ・食材に感謝、食材を育ててくれた方に感謝、働いてくれた方に感謝、きれいにいただく大人に育てていただきたい。
- ・まずは、家族から、友人、地域、日本、世界へと広がれば、それは素晴らしいことだと思う。

- ・ありがたさを忘れていた傾向があるから、ちゃんと伝えていきたい。
- ・日本語にしかないこの思いのこもった「いただきます」の言葉の意味をきちんと伝えていきたいです。言葉の意味を知ることができて本当に良かった。
- ・これから生きていく上で知っていなくてはいけない事と思ったから、伝えていきたい。
- ・飽食の時代、好きなものがいつでも手に入るこの時代、「食」の大切さ、ありがたさを知ってもらいたい。
- ・次の時代を担う子供たちにきちんと言葉の意味を伝える事でホントに命をつなげていけると思います。自分自身の人生を大切に生きていけるように。
- ・ものが豊富にあるこの世の中で子供たち、私たちが当たり前と思っていることをもう一度考え直したい。

Q8 「ITADAKIMASU」地域の課題を考えるに関して特に印象に残った点はどれですか？

- | | |
|-------------|------|
| ・学校給食の状況 | 83名 |
| ・ゴミ問題廃棄の量 | 81名 |
| ・食べ残しの廃棄の理由 | 141名 |
| ・その他 | 11名 |

その理由(抜粋)

- ・子供より大人が駄目なんて、しっかりしないとと思ったから。(食べ残しの廃棄の理由)
- ・行政が生活をしっかりと支えてくれることに甘んじている。自分自身も周りのことは自ら整えていく努力をしていきたいと思ったから。(ゴミ問題廃棄の量)
- ・現在の様子を知り驚いています。(学校給食の問題)
- ・食べ物について無意識になりすぎているのかなと思いました。(食べ残しの廃棄の理由)
- ・思い当たるものがいくつかあり、反省し改善すべきだと思いました。(食べ残し廃棄の理由)
- ・深谷の現状が分かってよかった。(その他)
- ・賞味期限切れになってしまう、食材がある。そのことに反省している。(食べ残しの廃棄の理由)
- ・かなり身近なことで、データに驚きました。(ゴミ廃棄・食べ残しの廃棄の理由)

Q9 私達の問題を解決または改善していくうえで、あなたにできることは何ですか？または何かあると思いますか？(抜粋)

- ・買いすぎない、しっかり使いきり、おいしく感謝していただく。
- ・「いただきます」の語尾を上げる、下げる事での体感によって笑顔が出る明るい家庭につ

ながっていくと思うので実践していきたい。

- ・食材も使えるものは使い、概念にこだわらずに料理をし、生活していきたい。
- ・食事が当たり前でできるという考えを見直し、感謝、ありがたさを思い考えていきたいです。
- ・一度に大量に買わない、使いきる、などのことを意識して生活していきたい。
- ・子供たちはもちろん、友達や家族に今日の話をちゃんと伝えていきたいです。命の大切さ、自分が生きることの意味、そして他人にコップからあふれた幸せを分けてあげられるように、まずは自分からやっっていこうと思います。
- ・ほんとに必要なものを必要な分だけ用意したいなと思いました。
- ・まずは無駄にしない事。
- ・自分にできることは毎日の生活、食事を通して命の大切さを家族に伝えていくこと。地域活動で、このような機会があれば、自分でできる範囲で協力していきたいです。

Q10 「命のつながり」や、その大切さについて、ご意見があればお書きください。(抜粋)

- ・地球を大切にすることは宇宙にまでつながっている。大河の一滴ではあるが、ひとつひとつの命を大切にしていきたいと思う。
- ・自分が今存在していることに感謝をし、周りの方々のために自分ができていることをやっていきたい。
- ・食事・命、深いつながりに気づくことができました。自分も次世代へつなげていく、教えていくこと、広げていくことをしないといけないなと思いました。
- ・深谷市民に繰り返し呼び掛けて市民の意識に根付かせていきたい。
- ・お腹がいっぱいになる食事ではなく、自分の命をつなぐ、体の為の食事をとることをこれからの未来につながる子供たちへ話し、伝えていきたいです。
- ・子供たちよりも私たち大人が忘れてしまっていることが多くあることに気づかされました。
- ・子供たちの将来の為、私たちが語り継いでいかなければならないことだと思いました。
- ・自分が今ここで生きているのは、自分だけの力ではないと改めて感じる事ができて良かったです。